

アセチルコリンと レシチン

ハイレシチン

- 内容量：270g
- 形状：粉 末
- 税込価格：5800 円＋消費税
- お召し上がり方：1 日 10g ～ 20g

栄養成分表：10g 中 (15cc スプーン 1 杯)
フォスファチジルコリン……………28%以上
フォスファチジルイノシトール……………25%以上
フォスファチジルエタノールアミン……………18%以上

ハイレシチン 10g = 大豆 5kg相当

体の全ての細胞に必要なレシチン

レシチンは大豆や卵に多く含まれるリン脂質で、不飽和脂肪酸にリンが結合しています。体の 60 兆個の細胞を包む「細胞膜」には流動性があります。

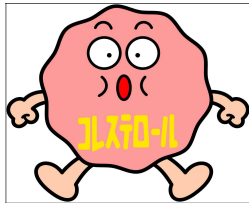


“流動性(柔軟性)”を保つのは、膜の構成物質であるリン脂質 (レシチン) の働きです。

レシチンは生命の基礎物質なのです。

レシチンの乳化作用

レシチンには脂質と水を溶かして混ぜ合わせる“乳化作用”があり、血管や細胞に詰まっている“コレステロール”や“脂質”を排出させます。



肝障害や胆汁うっ滞をもたらす病気では、血中の胆汁酸濃度が上昇します。

レシチンは「胆汁酸」と共に脂肪やコレステロールを排泄する為、「脂肪肝」などでは必須の栄養です。肝臓の健康には、レシチンを毎日摂取する事が推奨されます。



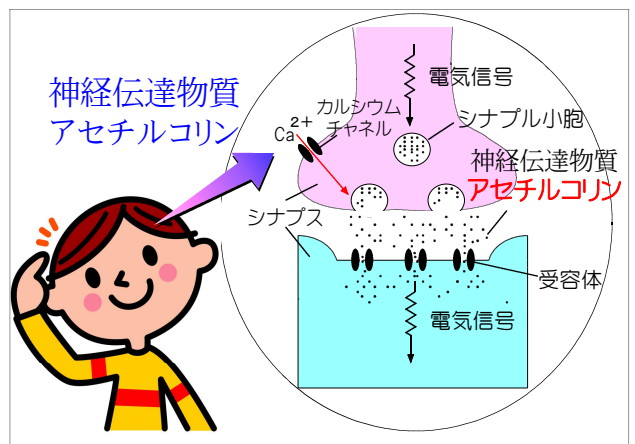
食べ物で1日に必要な量をとるのは、相当な量を食べる必要があるので、サプリメントで摂る事がおすすめです。

レシチン10gは、大豆5kgに相当

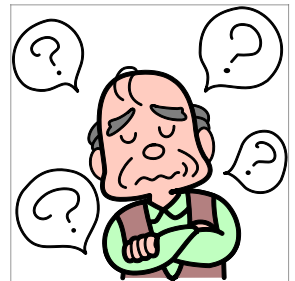
「アセチルコリン」は副交感神経や運動神経の末端から放出される「神経伝達物質」で、睡眠や覚醒、血圧、脈拍、記憶、認知、学習などへの作用と多岐にわたります。「アセチルコリン」が不足すると“眠り”が浅くなりやすく“集中力”が低下していきます。

「アセチルコリン」は“加齢”と共に減少し、“アルツハイマー病”では不足しています。「アセチルコリン」は“レシチン”に含まれる「フォスファチジルコリン」から作られます。「フォスファチジルコリン」の合成には、**ビタミンB12＋葉酸**が必要です。

レシチン⇒フォスファチジルコリン⇒アセチルコリン



脳の神経線維にあるミエリン鞘という絶縁質は、「レシチン」から構成されています。このミエリン鞘が傷つくと神経線維も損傷して「認知症」の原因となります。



従って、レシチンをしっかり摂取することで、脳細胞の減少を抑え、かつ神経線維を保護することができます。

「ハイレシチン」は、「フォスファチジルコリン」を28%以上含む高品質なレシチンです。

ハイレシチンの美味しい召し上がり方

- プロテインと混ぜ牛乳か水に溶かす。
- サラダ、ヨーグルトなどに振りかける。熱を加えないでお召し上がり下さい。

こんな方に、お勧めします

- * 眠りが浅く、寝付きが悪い方
- * コレステロール、中性脂肪が気になる方
- * アルコールが好きな方
- * 高齢者